

「釧路市と釧路短期大学との連携協力に関する協定」の定期協議報告

1. 協議実施期間 2022年9月20日から10月14日
対面協議は2022年10月3日に実施（釧路市本庁舎3階会議室にて）

2. 担当職員

釧路市

総合政策部都市経営課長	橋本博恵
総合政策部 都市経営課 企画担当 主任	松澤めぐみ

釧路短期大学

生涯教育センター長	名塚昭
生活科学科長	山崎美枝
幼児教育学科長	井上薫
生涯教育センター地域連携専門員	福崎寛

3. 協議内容について

- 1) 提携協力事業について

提携協力事業一覧のとおり、例年の水準で推移している（添付資料1）。

- 2) 釧路短期大学生活科学科から

阿寒湖周辺スタディートリップ（くしろ100年事業）では、学科専攻受講生（1年20人）の枠で参加させていただけた。マリモおよびそれらを育むカルデラ湖沼群の理解をはじめ、ゼロカーボンパークの取組を体感できた。

年度当初の演習授業（地域と観光）では、秋里副市長から「2022年度釧路市予算と主要政策」の講演をいただいた。まちづくり推進、アイヌ文化推進施策、子育て支援の事業等への関心が高まり、グループ研究のテーマにつながった。また、駅周辺整備事業については、学生からの聴講希望が多く、伴副市長の講演を予定している。関係分野の市担当者へのヒアリングなど、引き続きご協力をお願いしたい。

学生が関わる事が可能なモニター事業、協働事業などがあれば、今後とも情報提供をお願いしたい。

3) 釧路短期大学幼児教育学科から

幼児教育学科の実習においては、コロナ禍による実習期間の変更等、保育実習等に柔軟に対応し受け入れていただき、例年通り学生を保育者として送り出すことができた。ゼミナール単位での訪問・行事参加でもご協力いただくことができた。また、9月28日には保育関係者3名にご来学いただき、保育者養成についての懇談会で貴重なご意見をいただくことができた。今後も学生指導に協力をいただくと同時に保育現場からのご意見、ご要望、ご提言をいただきたい。

4) 釧路市から

阿寒湖周辺スタディートリップ（くしろ100年事業）では、貴学学生に参加協力いただき、若い世代の方々に釧路が持つ地域資源の価値や魅力を知っていただくとともに、これからの100年に向けて、釧路のまちづくりへ関心を持ってもらう機会として有意義な行事とすることができた。

今後も釧路市まち・ひと・しごと創生総合戦略で課題としている、若者の釧路への定着について、地域の高等教育機関として引き続き理解・協力を願いたい。

4. 協定書第3条による申出

なし

5. 所管部署の確認

上記協議内容を双方の部署間で確認し協議報告とする。

以上